

ビンズオン省廃棄物発電・処理事業（CL融資）



廃棄物発電・堆肥化を通じて循環型経済の実現に寄与

事業概要

ビンズオン省において、Binh Duong Water Environment Joint Stock Company (BIWASE) が保有する既存の廃棄物処理コンプレックス内に導入される堆肥化プラント(840ton/day)、廃棄物発電焼却炉(8,400kg/hour、~200ton/day)、スチームタービン(5MW)の建設に必要な資金を融資するもの。

本事業のポイント

1. 廃棄物処理能力の増強及び環境汚染緩和に寄与

本事業は近年の急速な都市化と工業化による廃棄物の増加に対応。加えて、ごみの埋立地不足や不法投棄等による大気汚染・土壌汚染の公衆衛生上の課題への貢献や、堆肥化による廃棄物のリサイクルを通じた温暖化ガス排出削減が見込まれる。

2. 安定的な肥料供給に寄与

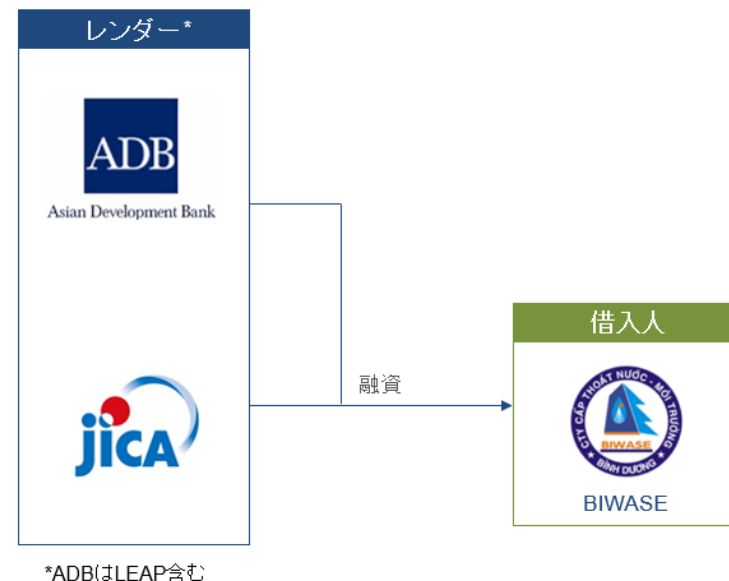
ウクライナ情勢を受けた肥料価格の高騰に対応し、農家への安定的な肥料供給に寄与。

3. LEAPの活用による環境対策を支援

ADBの融資にはJICAが資金を拠出する「アジアインフラパートナーシップ信託基金(Leading Asia's Private Infrastructure Fund: LEAP)」の資金600万米ドルを活用し、借入人による、国際水準の環境基準順守を支援。

4. 初の廃棄物発電所・堆肥化プラント支援

廃棄物発電、コンポストともに、海外投融資での支援は初。



堆肥化プラントの写真



廃棄物焼却炉の写真

